

学校教育目標『心豊かに 自ら学び 自己実現を目指す生徒』

沼津市立愛鷹中学校

# 鷹 根



学校だより NO. 6

平成29年10月18日



(創作部制作 鷹根祭大看板)

今年の鷹根祭は体育の部を赤白か四色対抗か、どちらで行うかを学級、生徒会で話し合うことから始めました。応援合戦に代わるパフォーマンスでは3年生リーダーを中心に創作から色別指導まで時間がない中でよく創り上げました。また、四色になることで各色三学年のつながりが強くなり、合唱コンクールに向けた合同練習が行われるなど、熱の入った活動ができました。



今回の鷹根祭は文化の部、体育の部を通して例年以上に盛り上がったと思います。これには入念な下準備や、皆さんの熱のこもった練習、そして当日の的確な指示や動きが必要不可欠でした。三年生として最後の鷹根祭でしたが、準備から片付けまでとても楽しく行うことができました。これが最後だと思うと感慨深いですが、皆さんのおかげでとてもいい鷹根祭になりました。本当にありがとうございました。

鷹根祭実行委員長 小野隆太郎

新しい物語の始まりとなる文化の部は、愛中生らしいパワーが発揮できたと思います。合唱コンクールでは、それぞれが本番にかけてきた思いを表現し、各クラスが歌うたびに会場がその曲に包まれているようでした。また、午後の部は、吹奏楽部と三年生を中心に全校で盛り上がることができ、とても楽しめる時間だったと思います。今後の学校生活でも、このような愛中のパワーが輝いていければいいと思います。

文化の部実行委員長 紅林佳歩

今年は赤白対抗から四色対抗にするという今までの鷹根祭にない大改革を行いました。四色対抗にしたことで、昨年よりも対抗意識が強く、熱い戦いになったと思います。パフォーマンスでは、各軍の三年が中心となり学年の壁を越えて一丸となって練習に励んできたので、各軍それぞれの魅力が表現されたと思います。全員で創り上げた鷹根祭は、とても良いものになりました。三年生は最後ですが、一・二年生は来年もあります。更に素晴らしいものを創り上げてください。

体育の部実行委員長 平澤峻





# 新チームで 愛鷹魂を見せつける 快進撃



## 男子ソフトテニス部 男子バレーボール部 優勝おめでとう

10月に入り、各運動部の新チームによるスポーツ祭市内大会が開かれています。2年生にとっては夏休みから部活動の中心となり、練習に励み、チーム作りをしてきた成果が見られる初めての公式戦ですが、各部が力を発揮しています。特に男子ソフトテニス部、男子バレーボール部は優勝、女子バスケット部は第3位という栄冠に輝きました。どの部も他校との試合で力不足を感じたところはこれから努力していきましょう。そのためにチームとしても個人としても一歩ずつ前に進む小さな目標を設定して力を付けて前に進みましょう。今週末から大会に臨む部も仲間の勢いに乗って健闘することを期待します。



市 ス ポ ー ツ 祭 の 結 果 及 び 予 定	野球部	予選R 1勝 1敗	敗退			
	ソフトボール部	1回戦敗退	順位戦 1勝	第5位		
	女子ソフトテニス部	1回戦惜敗				
	女子バレーボール部	予選R 2勝 1敗	決勝T 1回戦惜敗			
	男子バスケット部	予選R 2勝 1敗	決勝T 1回戦惜敗	順位戦 1勝 1敗	第6位	
	女子バスケット部	予選R 2勝	決勝T 1回戦勝利	準決勝惜敗	3位	
	サッカー部	10月21日～	静浦小中一貫学校他	卓球部	10月29日	市民体育館
	柔道	11月3日	沼津市立高校	剣道	11月3日	沼津市民体育館
	陸上競技	11月3日	愛鷹競技場			



## 地域で育てる愛鷹の子 PTA主催 地区懇談会

10月13日にPTA学年部で企画した地区懇談会が行われました。自治会長さんをはじめ地域の方々に加わっていただき、保護者、教員を合わせると80名ほどの参加者がありました。はじめに市生涯教育課社会教育指導員の鈴木正伸さん（赤坂、元連合自治会副会長）から、うなづきを例にコミュニケーションの取り方や会話の材料などの講話を受けました。その後、家庭教育支援員の方々のアドバイスを受けながらグループワークを行いました。グループでは、子どもが反抗的な態度を取ったときの声かけやスマホやタブレットの子どもの使用など、思春期を迎えた子どもとどのように向き合うか互いの考えを交わしたり、地域の先輩から子育ての知恵をいただいたりと有意義な時間があっという間に過ぎていきました。PTA学年部員さんお疲れ様でした。参加者の皆さんありがとうございました。



## 読書の秋

毎年2回、教育活動アンケートを行っています。その中で注目したい結果として、「子どもが家庭で読書しているか」という問いに対する回答の65%が否定的であることです。今年は秋の夜長に短い時間でもテレビやゲームなどメディアから離れて、読書に勤しむ場を家族で作しましょう。

